

# 足利風 -ashikaga-fu

2015  
10月号  
Vol. 40



画：新島 旭



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* 渡良瀬は人道の稽古場 \*

♪ 渡良瀬橋で見る夕日を あなたはとても好きだったわ  
きれいなとこで育ったね ここに住みたいと言った

...

あなたが好きだと言ったこの街並みが 今日暮れてゆきます  
ひろい空と遠くの山々 二人で歩いた街 夕日がきれいな街

森高千里が歌った「渡良瀬橋」は、足利市民にとって“過去から未来への架け橋”である。渡良瀬を“人道の稽古場”として、“天国への道普請”をやり通した田中正造をテーマに、「渡良瀬～生きる場の風景～」を、足利市民活動センターで語った哲学者・花崎阜平さん(小樽在住)は、田中正造の言葉「画一主義ハ不可ナリ。分任分担ハ自治元氣ニ益ナリ。」と揮毫した。

明治24年(1891)弱冠19歳の荻野萬太郎を中心に、二・三十代の青年経営者たち(ほとんどが繊維の旦那衆)が、企業倫理の確立や社会貢献を進めるための「足利友愛義団」を結成した。日本最初期のNPOとも言える。そのボランティアな地域活動の最盛期には、“鉾毒救済会”を組織し、谷中村の田中正造を、物心両面から全面支援した。市民公益活動のさきがけである。

渡良瀬の風の道に沿って、時代は流れる…。足利の詩人・三田忠夫(文林創設者)は、“渡良瀬川”をこう謳っている

～時は移り いま渡良瀬川は / 高手小手に縛りあげられた罪人のように  
神妙な顔付で流れている / 人間の企みを横目に見ながら・・・  
忍耐にはおのずから限度があるから / まれには天の助勢をたのんで  
一遍勝負をいどんでみるが / 事はつねに不発に終わった  
つまり男でなくなった男 / それが渡良瀬川の相貌なのだ～



一切の汚れをさえ光らせる赤い残照が、川面に映る渡良瀬の土堤を、老いた鶴のような長い影をひく後ろ姿の田中正造。時代の流れのところどころで、忽然と表舞台に現れては消える、まるで渡良瀬の伏流水のような人・ヒト・ひと…。しかし、確かに彼らは、渡良瀬の土の中を、絶えることなく流れつづけているのである。(M生)

## \* 「春さんと仲間たちコンサート」大盛況！ \*

8月2日(日)足利市民活動センターみんなの広場での写真展に合わせた“春さんと仲間たちコンサート”は、70名の参加で大盛況でした。6名の演奏者の熱演に拍手喝さいで、楽しい時間があっという間に過ぎました。ぜひ再演！



## \*「春の陽だまりのように・・・」\*

～足利市障がいを持つ子供と家族の会 “ぽっかぽか”～  
代表 千秋貴子



誰でも障がいあるこどもの親になることがある…私たちが自分自身の子を産み、育てて初めて魂でわかったことです。障がいのあるこどもの身体・こころ・特性を理解し受け容れて外へ前へと一緒に歩んできたことには、それぞれに言葉では言い尽くせない思いがありました。今では「お母さんは強いですね」と声をかけていただくこともあります。その過程で“ぽっかぽか”の仲間の力はとても大きいものであったし、これからもそうであると確信しています。一緒に泣いて背中をさすり合い、「行け！」と背中を押され、ときにはそれぞれの意見や気持ちをぶつけあい絡まり合って、今の私たちがいます。“ぽっかぽか”の仲間の熱い深いところには、障がいの種類や軽重によらず、また自分の子に限ったことではない、ともに生き育つこどもたちへの愛情、そしてそれを支える家族への尊敬があります。

障がいをもったこどもと同じく歳を重ねる家族、特にきょうだいたちのケアやつながりも今後はとても大切なことと考えています。幼くして一生の障がいという現実を知ってしまったきょうだいたちにも、勇気をもって自分の生き方を選択し飛び立ってほしい、たくさんの素敵な出会いをしてほしいと願っています。

私たち“ぽっかぽか”の目指すところは、仲間内のつながりや普段の活動に限ったことではありません。こどもたちの未来と笑顔のため、私たちの経験があればこそ可能な発信や回答を活動の一環として続け、お互いの存在をきちんと認め合った上で地域社会とともに生きていくことが必要です。これまでの私たちの未熟な人生経験の中、すでに身内や仲間以外の善意の他人に数限りなく助けられ支えられる機会に恵まれ、ようやくここまで来ました。その感謝の気持ちを忘れてはならないし、私たちにも何か還元できればという思いは強くあります。かつてそれぞれは心細く弱かった新米母さんたちが集まり支え合い、今では地域に少しでも元気をと頑張る肝っ玉母さんたちになりました。分け隔てなくすべてのこどもたちの笑顔のためにご理解とご支援を。そしてこんな私たちに少しでも興味を持って下さる方がいらっしゃいましたら何でも気軽にお声掛け下さい。よろしくお願い致します。

主な活動) ☆リトミックと体操教室 ☆おしゃべり広場(子育て相談) ☆定期的な勉強会

## \* 足利わかちあいの会(縁の会)

会長 小松原 春枝

当会は、足利市カウンセリング協会主催の“グリーンケア入門”受講修了者を中心に設立されました。この会は、大切な人を亡くされた方々が、語りを通して、少しでも前にすすめる場として活動を行っています。“グリーンケア”は、悲嘆ケアと言われていています。大切な人を癌や難病で亡くされた方、大切な人を自死で亡くされた方、あるいは、可愛がっていたペットを亡くした方、喪失には、それぞれあります。誰にも話せない大切な思いをお話しませんか。

話し合いの会は、毎月第一土曜日、午前10時から12時まで、足利市民活動センターで行っています。会の中で話されたことは、他に漏れることはありません。安心して、お話していただくことが出来るように、スタッフがサポートいたします。

## ① インフォメーション ①

### ☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。  
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、  
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。  
どうぞ、お気軽にご参加ください。

★10月8日(木)午後2時～

\* 本 : 太宰 治「人間失格」

\* 案内人: 日下部悲天 さん

\* ひとつこと: “笑われて、笑われて、つよくなる～他人の前では面白おかしくお道化  
てみせるばかりで、本当の自分を誰にもさらけ出すことのできない男  
の幼少期から青年期までの人生を描いた代表作「人間失格」をテキ  
ストに、人気作家・太宰 治にまつわるあれこれを語り合いましょう。”

★11月12日(木)午後2時～

\* 本 : 「あしたのジョー」

\* 案内人: 鈴木光尚 さん

\* ひとつこと: “ドヤ街・山谷の泪橋から、一人の不良少年が、ボクサーとして、時代  
を駆け抜ける、一世を風靡した物語。戦後の焼け跡から、高度成長  
へと、日本が、まだ青春だったあの時代、「あしたのジョー」の時代と  
文化を、熱く語り合いましょう！”

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ～ 10月・11月のご案内 ～

\* さよなら 足マガ展(10月5日～15日)

\* 足利学校復原時の写真展(10月19日～29日)

\* USAUSA WORLD BEYOND

あべ あやこ イラスト原画展 2015(11月2日～12日)

\* 川島直人 水彩画作品展(11月16日～26日)

\* 絵手紙の会 作品展(11月30日～12月10日)

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

Facebook の  
QRコード



## 編集後記

加藤登紀子さんと相田みつをさんとの“縁”が取り持つ約束のコンサート。若い世代  
のキーナ奏者Renさんとの“縁”も加わり・・・この地鑿阿寺で行われた。多くの市民  
と市の協力により実現された“実りの秋の大きなイベント”だった！！(すずらん)

# “ 講座・相談室のご案内 ”

## 【相談室】

日付	相談テーマ	相談員
10/14(水)	折り紙・ユニットを つくろう！	檜山 達夫さん (足利市レクリエーション協会)
10/28(水)	一人歩きできる旅行英会話 Part2	奥中 敏則さん (AIAボランティア通訳委員長)
11/11(水)	グリーンケアはじめの一歩	溝添 直哉さん (足利市カウンセリング協会代表)
11/25(水)	リバウンドしない整理術	濱田 真由里さん (整理収納アドバイザー)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

## 【講座】

日付	講座名
10/15 (木) 19:00～21:00	子どもが主役のまちづくり 中村 桃子さん（ミニさくら発起人）
11/19 (木) 19:00～21:00	I Tを活かしたまちづくり 山田 雅俊さん（NPO法人コムラボ代表理事）

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

問合せ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
10/5 (月) ~10/15 (木)	さよなら 足マガ展	足利漫我人
10/19 (月) ~10/29 (木)	足利学校復原時の写真展	熊倉 拓哉さん
11/2 (月) ~11/12 (木)	USAUSA WORLD BEYOND あべ あやこ イラスト原画展2015	あべ あやこさん
11/16 (月) ~11/26 (木)	川島直人 水彩画作品展	川島 直人さん
11/30 (月) ~12/10 (木)	絵手紙の会 作品展	足利絵手紙の会の みなさん

展示会場 足利市民活動センター (旧保健所) 3階 みんなの広場  
(足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311)

展示時間 午前10時~午後7時

休館日 土・日・祝